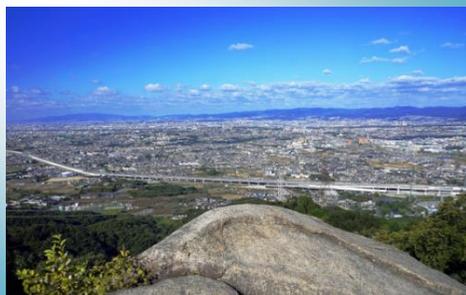


市長戦略2019-2022

概要版

自然と人が共生し
子育てと地域の絆で元気な交野！



交野市長 黒田 実

2019年2月

市長戦略とは、第4次交野市総合計画基本構想に基づき、市長が任期中における重点的・特徴的な取り組みを示すものです。

全体構成



「市長戦略2019-2022」は、5つの政策の柱からなる「政策プラン」と、その政策を担保し持続可能な行財政運営の取り組みを示す「行財政改革プラン」から構成しています。

「自然と人が共生し 戦略の「ジョイント」 子育てと地域の絆で元気な交野！」	政策プラン	1. 子どもが元気に成長する環境づくり	(1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり (2) 妊娠から子育てまでの切れ目ない支援 (3) 小中一貫教育や学校規模適正化による質の高い学校教育 (4) 子どもの未来を応援する取り組み
		2. 支え合う健康・福祉のまちづくり	(1) 健康寿命の延伸に向けた取り組み (2) 地域包括ケアと自立促進の充実 (3) 障がいのある人への切れ目ない支援 (4) 暮らしの充実に向けた取り組み
		3. みんなで安全・安心なまちづくり	(1) 公共施設の防災力強化 (2) 地域防災力の支援・強化 (3) 地域防犯力の支援・強化 (4) 平和と人権のまちづくり
		4. 地域の活力と雇用を生む基盤づくり	(1) 都市基盤の整備 (2) 移住・定住促進策の充実 (3) 地域の魅力発信の促進 (4) 産業・創業支援の取り組み
		5. 未来へつなぐ環境づくり	(1) 「まちづくり」の仕組みづくり (2) 未来に向けた公共施設再配置の推進 (3) 環境にやさしいまちづくり
	プラン 改革 行財政	1. 行財政改革の推進	(1) 行政資源の有効活用 (2) 民間活力の導入と多様な連携の推進
		2. 持続可能な財政運営	

1. 子どもが元気に成長する環境づくり



子育て環境の整備と、小中一貫教育の推進、子どもの未来を応援する取り組みを進めることで、子育て世代が住みたいまち、子どもがいきいき育つまちを目指します。

重点的な取り組み

- ★ 認定こども園や放課後児童会の待機児童ゼロを目指します。
- ★ 妊娠から学童期までの相談支援体制の充実に取り組みます。
- ★ 幼児期保育、小中一貫教育の「質の充実」に取り組みます。
- ★ 時代の変化に対応した学校規模適正化・適正配置を進めます。



(1) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

施策の方向性	待機児童の解消を図り、子育て世帯の負担軽減につなげるとともに、全市的な教育・保育の質の向上を進めます。	主な取り組み	<ul style="list-style-type: none">➤ 新認定こども園の建設や幼稚園の認定こども園化等により定員確保を推進➤ 多子世帯への補助等により、第3子に係る保育料無償化を実施➤ 新認定こども園の建設推進と質の高い教育・保育の実施➤ 市全体の幼児期保育の充実（障がい児保育の充実、食育推進、看護師等の配置補助等）➤ 放課後児童会の待機児童ゼロ継続のため、施設増設等により定員確保を推進
--------	---	--------	---

(2) 妊娠から子育てまでの切れ目ない支援

施策の方向性	妊娠から子育てにかけての不安解消と、母と子の健康づくりをサポートするため、新たな支援制度や相談体制の充実を進めます。	主な取り組み	<ul style="list-style-type: none">➤ 産後ケア事業の実施や産前・産後サポートの充実（子育て世代包括支援センター化）➤ 不育症治療費に対する助成制度の新設➤ きめ細やかな相談体制の構築やアプリ等による情報発信の充実
--------	--	--------	---

(3) 小中一貫教育や学校規模適正化による質の高い学校教育

施策の方向性	子どもたちの学力を伸ばし、豊かな人間性や変化に対応する力を育む教育を進めます。	主な取り組み	<ul style="list-style-type: none">➤ 小中一貫教育の推進（社会のグローバル化に対応するため外国語指導助手の増員による先進的な英語教育、言語活用力向上のため学びあい補助員による国語授業改善、論理的思考力向上のためプログラミング教育、学校ICT環境整備等）➤ 教師に対する研修実施や先進授業の視察等による「教える力」の向上➤ 学校の規模適正化・適正配置及び学校施設の更新・長寿命化改修等の推進
--------	---	--------	---

(4) 子どもの未来を応援する取り組み

施策の方向性	子どもの成長が家庭環境などに左右されないよう支援を進めます。	主な取り組み	<ul style="list-style-type: none">➤ 子どもの居場所づくりの推進、就学援助の拡充
--------	--------------------------------	--------	---

2. 支え合う健康・福祉のまちづくり



健康寿命の延伸や、地域包括支援事業、生涯学習の充実など、暮らしの充実を図ります。

重点的な取り組み

- ★ 健康ポイント制度を活用した健康づくりに取り組みます。
- ★ 地域包括ケアの充実と認知症高齢者支援を進めます。
- ★ 障がいのある人の意思疎通支援に取り組みます。
- ★ 星田会館図書室の整備と図書館サービスの向上に取り組みます



(1) 健康寿命の延伸に向けた取り組み

施策の方向性

誰もが健やかな毎日を送ることができるよう、健康づくりに取り組める環境を整備し、健康寿命の延伸を図ります。

主な取り組み

- 健康ポイント制度を活用した健康づくりの推進と健康意識の醸成
- 子どもからお年寄りまで、スポーツによる健康増進

(2) 地域包括ケアと自立促進の充実

施策の方向性

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活し続けることができるよう、環境の整備を進めます。

主な取り組み

- 地域包括ケアの充実、医療介護連携の強化
- 認知症ケアパスや初期集中支援チーム等による認知症高齢者に向けた支援
- 元気アップ体操の推進と元気アップリーダーの養成
- 時代の変化に対応した外出支援のあり方の検討

(3) 障がいのある人への切れ目ない支援

施策の方向性

障がい者とその家族が安心して生活できるよう、環境の整備を進めます。

主な取り組み

- 障がい者の意思疎通支援（手話講習の拡充、朗読奉仕員の養成等）
- 障がい者差別解消に係る啓発と手話言語条例の制定
- 児童発達支援センター、地域生活支援拠点の設置によるライフステージに応じた切れ目ない支援

(4) 暮らしの充実に向けた取り組み

施策の方向性

全ての人が生きがいを持って充実した生活ができるよう、生涯学習の拠点づくりを進めます。

主な取り組み

- 生涯学習基本計画の推進（スポーツ・文化振興に係る支援）
- 総合型地域スポーツクラブの育成
- 寺作業所跡地を活用したスポーツ施設の整備
- 大阪市立大学理学部附属植物園との連携事業（各種イベント連携、中学校生徒の職場体験、子どもプランにおける連携等）
- 星田会館図書室の整備と図書館サービスの向上

3. みんなで安全・安心なまちづくり



防災・防犯対策や恒久平和への取り組みなど、暮らしやすさが実感できるまちづくりを進めます。

重点的な取り組み

- ★ 防災マネジメントの拠点として庁舎整備に取り組みます。
- ★ 草川調整池の整備など、雨水排水対策を進めます。
- ★ I o T※を活用した通学路の見守りサービスを導入します。
- ★ 女性が活躍し、多様性を認め合う社会に向けた環境づくりに取り組みます。

(1) 公共施設の防災力強化

施策の方向性

災害発生時に迅速かつ的確な対応を行うため、公共施設の災害対応能力を高めるなどの整備を進めます。

主な取り組み

- 防災マネジメントの拠点整備（庁舎整備基本構想の策定）
- 公共施設等総合管理計画に基づく計画的なインフラの修繕・長寿命化
- 学校施設等管理計画に基づく学校施設の更新・長寿命化等改修
- 個人情報等を扱うシステムのクラウド化等による情報セキュリティ強化

(2) 地域防災力の支援・強化

施策の方向性

暮らしの安全・安心を確保するため、地域の防災力を高める取り組みや、備えを充実させるための支援を進めます。

主な取り組み

- 草川調整池の整備など、雨水排水対策の推進
- 木造住宅耐震改修補助等の拡充
- がけ地近接等危険住宅移転事業補助の新設
- 防災資機材整備助成の拡充
- 避難所の環境改善と防災情報の発信と共有
- 防災協力農地登録制度に向けた調査・検討
- 水道事業における防災対策の推進
- 高齢者向け防火診断による火災予防啓発



(3) 地域防犯力の支援・強化

施策の方向性

暮らしの安全・安心を確保するため、防犯体制の整備と、地域に対する支援や啓発を進めます。

主な取り組み

- I o Tを活用した小学校通学路の見守りサービスを導入
- 警察との連携による地域ぐるみの防犯活動・交通安全啓発の推進

(4) 平和と人権のまちづくり

施策の方向性

一人ひとりの個性が大切にされ平和な生活が営めるよう、支援や啓発を進めます。

主な取り組み

- 平和の尊さを次世代に継承するため、戦争体験史のデジタル化
- 女性が活躍し、多様性を認め合う社会に向けた環境づくりと啓発

※Internet of Things：身の回りのモノがインターネット経由で通信することを意味します。

4. 地域の活力と雇用を生む基盤づくり



移住・定住人口を増やすための都市基盤整備や地域の魅力発信を進めるとともに、雇用を生む取り組みを進めます。

重点的な取り組み

- ★ 星田北エリアのまちづくりへの支援に取り組みます。
- ★ 安全で交通利便性の高い道路網の整備に取り組みます。
- ★ 移住・定住促進のための支援に取り組みます。
- ★ シティプロモーションによる魅力発信に取り組みます。



星田北まちづくりイメージ

(1).都市基盤の整備

施策の方向性

快適な住環境の整備とあわせて、交通利便性の高い道路網の整備を進めます。

主な取り組み

- 星田北・星田駅北土地区画整理事業への支援
- 天の川磐船線の交野久御山線までの延伸を支援
- 道路網の整備を活かした土地活用による雇用創出
- 公共交通の利用促進に向けた取り組み
- 歩行者の安全や渋滞緩和に向けた道路改善



(2).移住・定住促進策の充実

施策の方向性

移住・定住を促すための支援や、空き家の流通促進を図ります。

主な取り組み

- 3世代同居・近居補助制度の実施
- 中古住宅流通促進・リフォーム等補助制度の新設
- 空家等対策計画に基づく相談体制・ネットワーク形成

(3).地域の魅力発信の促進

施策の方向性

地域の魅力を発信し、都市イメージの向上と交流人口の増加を図ります。

主な取り組み

- WEBやSNS等を活用したシティプロモーションの推進
- 2021年の市制施行50周年を見据えた魅力発信（過去写真デジタル化等）
- 私部城跡保存事業
- 姉妹都市交流事業
- かたのツーリズムによる地域活性化

(4).産業・創業支援の取り組み

施策の方向性

地域産業の活性化に向けた取り組みを進めます。

主な取り組み

- 創業支援ネットワークの充実
- 地域ブランド「カタノのチカラ」の充実と販売促進

5. 未来へつなぐ環境づくり



自然豊かな“かたの”を次世代に引き継ぎ、未来への基盤をつくるための取り組みを進めます。

重点的な取り組み

- ★ 将来を見据え、総合計画基本構想と都市計画マスタープランの改訂に取り組みます。
- ★ 公共施設への再生可能エネルギーの導入を進めます。
- ★ クールチョイス宣言による啓発と環境マネジメントシステムに取り組みます。
- ★ 都市農業の支援や、里山環境の保全に取り組みます。

(1).「まちづくり」の仕組みづくり

施策の方向性

今後も一人ひとりが健やかで豊かな市民生活をおくることができるよう、まちづくりの基本となる方針をつくります。

主な取り組み

- 時代の変化に対応した新総合計画基本構想の策定
- タウンミーティング、市長と語る会の開催
- 時代の変化に対応した新都市計画マスタープランの策定
- まちづくりシンポジウムの開催

(2).未来に向けた公共施設再配置の推進

施策の方向性

新たな庁舎や学校施設などの公共施設の計画的な再配置を進めます。

主な取り組み

- 公共施設等再配置計画に基づく施設マネジメント
- 庁舎整備基本構想の策定（再掲）
- 乙辺浄化センターの更新
- 学校規模適正化基本計画の推進



(3).環境にやさしいまちづくり

施策の方向性

身近な自然環境保全から地球温暖化対策まで、環境にやさしいまちづくりを進めます。

主な取り組み

- 公共施設への再生可能エネルギーの導入
- クールチョイス宣言による啓発活動の推進
- 環境マネジメントシステムの推進
- 特産品づくりや流通促進などを通じた地場産農産物の支援
- ため池などの農業用施設管理の支援
- 天野川緑地などへの桜枯木補植の推進（桜回廊）
- 危険木伐採による里山環境の保全



行財政改革プラン

政策プランの実現を担保し、持続可能な行財政運営に向けた取り組みを進めます。

1. 行財政改革の推進

将来を見据え、優先順位の高い施策へ資源投入を図るためにも、市役所が持つ資源を効果的・効率的に活用する必要があるため、業務の棚卸等を実施することで課題を検証し、改善につなげます。

(1) 行政資源の有効活用

①新庁舎整備に合わせた市民サービス向上と業務最適化	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が利用しやすい機能的な窓口とサービス ● 庁舎整備と合わせた行政事務の最適化・効率化
②市役所業務の改革と組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 組織の生産性向上と活性化 ● 人事行政の基盤強化と人材育成の推進 ● 組織マネジメントの向上
③新たな財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政運営基本方針に基づく財源確保の推進

(2) 民間活力の導入と多様な連携の推進

①民間活力の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間活力導入基本方針の推進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 前期市長戦略を踏まえた導入推進 ➢ 民間活力導入基本方針に基づく個別事業の再検証
②多様な連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域連携の検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 消防広域連携の推進、新たな広域連携の検討 ● 多様な連携の推進 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 大学との連携や公民連携の推進

2. 持続可能な財政運営

今後も安定的で持続可能な財政基盤を確立するため、「財政運営基本方針」に則り、財政規律の確保を図るとともに、今後の財源の確保も検討し、将来に渡っての健全な財政運営を目指します。

財政運営基本方針より一部抜粋

	主要財政指標	目標
財政規律の確保 (主要指標の堅持)	実質赤字比率 連結実質赤字比率	0
	経常収支比率	大阪府内市町村 平均以下
	実質公債費比率	大阪府内市町村 平均+8%以下
	将来負担比率	150%以下
	基金残高	20億円以上
財政基盤の強化 (基本的な考え方)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業実施における財源確保 2. 人件費の抑制 3. 事業の見直し 4. 補助金等の整理合理化 5. 自主財源の確保 6. 将来負担の圧縮（土地開発公社健全化） 7. 基金の確保 8. 公共施設等総合管理計画の推進 	



進行管理については、毎年度の実施状況をホームページなどで公開します。また、実施状況に応じて必要な対策を検討し、事業の追加や見直しを行います。